

市では、市民の皆さんから書面でいただいた市政に対する意見 や要望を「市民の声」という形で受付し、関係課にて対応を行っております。受付したものは、ご本人に回答しておりますが、その情報を広く市民の方と共有するため、個人が特定されないよう配慮したうえで公表いたします。

「HANAZONO EXPO について」

ご意見

2022年11月5日及び6日に「HANAZONO EXPO」を開催しました。しかし、予定経費を超過したため、不足している部分には、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」（以下「交付金」という。）を充てることとしています。

経費不足の原因は、参加企業が増えてテントやテーブルなどの設備や、設営に関わる人員が増えたことや、警備費が増えたことです。コロナ対応のための取組ではありません。

EXPOへの参加企業は、コロナ禍による経営危機に陥っているとは見受けられませんし、コロナ禍による経営危機がEXPOへの参加条件ではないと思われま

す。仮に参加企業がコロナ禍による経営危機であったとしても、企業の業態によっては参加できない企業も多数存在するため、参加企業のみを対象としたEXPOに交付金を充てることは不公平です。

大阪市の交付金実績を見ると、コロナ禍により真に困窮している多くの者を公平に救済するために使われています。東大阪市においても、大阪市と同様の事業に交付金を使うべきです。

予算の限度を理由として参加企業の数制限することができたにも関わらず、予算の限度を超えてEXPOを行ったことは、事業の恣意的な変更です。

事業の途中で恣意的に事業を拡大したことは、ルール（規則）を後出しで変更したことに同じであり、そして参加企業への恣意的に便宜を図ったことに同じ意味を持ち、公平性が無く、不当です。

以上のことから次の5点を要求します。

- (1) EXPOの事業の途中で恣意的に事業を拡大したことは不当である、ことを認めること。
- (2) EXPOへの参加・不参加により交付金の恩恵を受けたり・受けなかったりすることは不公平である、ことを認めること。
- (3) EXPOに交付金を充当することに関して、国の見解を受け取ること。

(4) 上記(1)から(3)に関する見解について、市のホームページに掲載し、かつ、市民が注目し易くするためホームページの「新着情報」及び「新着情報一覧」に見出しを掲載すること。

(5) 上記(1)から(4)に関する見解や判断について、私あてに、文書で回答をしてください。

ご回答

(1) について

HANAZONO EXPO は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下、交付金）における「経済対策との関係」を「安全・安心を確保した社会経済活動の再開」と位置付けており、ウィズコロナ下での社会経済活動の再開等に関する事業として交付金を活用できる取組みです。ご認識のとおり、想定を大きく上回る出展者が集まったためにテント・机・いす等の諸経費が追加が必要となったり、安全なイベント運営のため警備運営体制の強化等を図ったりした結果事業が拡大することとなりました。しかし、HANAZONO EXPO は、ポストコロナ社会における新しい生活様式や価値観、最先端のデジタル技術を来場者が見て触れて体験できる機会をつくることを目的としており、交付金の活用が可能な事業であるため、本イベントに交付金を活用することは不当ではないと考えております。

(2) について

HANAZONO EXPO は、「経済対策との関係」を「安全・安心を確保した社会経済活動の再開」と位置付けているため、参加企業が給付等の形で直接交付金の恩恵を受けることは想定しておりません。また、HANAZONO EXPO への参加によって参加企業の便宜を図るイベントではございません。

また、本市では、東大阪市中小企業設備投資支援事業、東大阪市事業継続応援金支給経費などの事業者に対する支援や、学校給食緊急支援補助金等の小中学校や認定こども園等への給食費の補助事業などを交付金事業として位置付け、様々な支援事業を行っております。

(3) について

HANAZONO EXPO 開催経費については、令和4年度中に、交付金の対象事業として国に対し交付申請を行いました。本事業に係る申請に対し国より交付金の交付決定が行われており、臨時交付金事業として国から対象事業として認められていることが、HANAZONO EXPO 開催経費への交付金充当に対する国の見解と認識しております。

(4) について

ホームページに掲載につきましては、新着情報への掲載はいたしません。市のホームページのうち企画課メニューの中で掲載します。

(5) について

(1) から (3) について、文書での回答を郵送いたしました。